

つくし野「地域ふれあい基金」運営委員会 8月定例会報告書

2019年8月26日(月) 委員長 鈴木雅雄

<議事録>

- 1、 自治会館建設委員会の鶴養委員長が出席され進捗状況を報告
自治会館建設委員会の事業計画(案)を持参し説明された。これを受けて、各ふれあい委員は事業計画案を読み、次回ふれあい委員会(9月24日)で質疑応答の時間を設けることとなった
*質問のある委員は、あらかじめ鶴養委員長に送り(鈴木委員長宛でもよい)、その答えを用意していただく。定例会の時間を短縮することに役立つため。
- 2、 つくしのふれあい特別講演会(9月8日)について、当日の各担当役割に対しての最終確認を行った。
参加人数のアンケートの結果(4自治会で68名) やや人数が少ないので、各自治会で参加の呼びかけを行い、あと、すくなくとも20~30名の参加を募ることとした。最終参加人数は西野氏が集計することとなった。
- 3、 防犯カメラ関連の名義、請求書の送り先は、鈴木委員長あてになった。銀行口座の嶋田氏名義も現委員長名義に変えることとなった。
- 4、 今年度一般事業活動計画
 - ① Xmasイルミネーション(点灯式12/1⁷予定)
電飾の劣化など新規購入予算及び、点灯期間について質問が出た。
9月各自治会定例会で住民の反応をうかがい、9月24日ふれあい定例会で、実行するか否か、実行しても規模を縮小するかどうかを最終判断することとなった。
 - ② クラシックコンサート
9月24日ふれあい定例会で検討することとなった。
- 5、 『つくし野地域ふれあい基金』規約改定素案について
あらかじめ各委員には素案を送り、目を通してもらっていた。
特に質問はなく、来年4月の各自治会総会で承認を受けることができるように検討を続ける。

● 次回 第6回運営委員会9月24日(火)19:30~於:つくし野CS第1会議室